

●月刊ソトコト取材プログラム 於：板橋区前野公園('09年3月27日)

「自然を感じる遊びを楽しみながら、生き物の生態を学んだよ。五感を使って、都会の公園にも自然が息づいているって知った！」



[月刊]ソトコト5月号SOE紹介記事タイトルより
[SOEが公園で子どもたちとネイチャープログラムを实践—月刊「ソトコト」〔ロハスピーブルのための雑誌〕による取材プログラム]

日本女子大学2年 笹野智加

3月27日、今回は月刊ソトコト誌主催の環境移動教室による取材で私たちSOEは板橋区前野公園で小学生と女優の奥貴薫さんと一緒にネイチャーゲームを行いました。

活動はまず、アイスブレイキングとして『コウモリとガ』から行いました。はじめは雰囲気も表情も固かった小学生、奥貴薫さんでしたが、次第に打ち解けゲーム終盤にはカメラマンまでもが小学生によって参加させられてしまうほど、ゲームに夢中になっていました。『コウモリとガ』は超音波を使って獲物をとらえていくコウモリの習性を遊びに用いたゲームです。自然界の食物連鎖を体で体感することが大きな意義ではありますが、コウモリ役になるときに目隠しを友達にしてもらうことで、相手を信頼する気持ちが芽生えより親しくなれることも忘れてはなりません。

…2ページへつづく▶

●Earth Day Tokyo 2009. ('09年4月18・19日)

アースデイ EARTH DAYで 静かに地球の鼓動を 感じたのです

アースデイは、1970年にアメリカの学生自治会が呼びかけてユニークな活動で2,000万人の大イベントとなり、1980年代に全世界に広がった地球の日。一人ひとりが主人公で、自由意思で地球のために考え、行動し、継続していくことを呼びかけているものです。その後 この活動によって東南アジアにおける枯れ葉剤の使用が禁止されるようになったり、大気、水質浄化法など、環境法が整備されていったりする力になりました。



アースデイは多くの方が知るところですが、実際に参加することが意外にまだ少ないかもしれません

…3ページへつづく▶

次は『カモフラージュ』です。公園の植え込み内に鉛筆や手鏡、木工細工などのさまざまな人工物を約10m区間の中に今回は計22個隠しました。隠された物を探す子どもたちの集中した視線が私たちの提供する活動に熱中していたことを物語っていたと思います。指定された区間内をゆっくりとした歩みで隠された物を探す姿は、勉強に向けられる熱意とはまた違った熱意であったと感じました。また奥貫さんも、子どもたちと同じぐらい集中してカモフラージュに参加していました。

隠された数を聞いてみんなとても驚いていましたが、それは見つけられたのが6〜7個であったからだと思います。自然界に生きる動物たちが身を隠し生命を守るため、環境へ適応していく力を持っていることに関心を抱いてもらえたのだと考えました。そして環境問題へのアプローチは地球温暖化やごみ問題の解決を考えるといったことだけではないということも実感しました。

最後の活動は『フィールドビンゴ』です。いくつかのグループに分かれてビンゴを完成させていくのですが、最初の固い雰囲気と表情は全くなくなりビンゴを完成させるべく、公園内を思い思いに歩きまわっていました。両手で抱えられない太さの木や、聴診器による木の音は大変印象的だったようです。また、花壇にある花を指して「この花、いい匂いがするかもね」と言ったところ、「うそだー!」と言いつつも花に顔を近づけ香りを嗅いで「ほんとだ!」と素直に喜んでいた子供たちの表情を見た時は、とても嬉しかったです。

子どもたちは普段友達と遊ぶために何気なく公園を使いますが、そこで新しい発見したことは、すぐそばにある自然をもっと身近に感じ取れる力を都会でも養っていけるのだということを示してくれたように思います。都会の



ビンゴカードには、五感を使うのしいキーワードが並んでいます。どんな場所でも、誰でもが、夢中になるゲームです。

何気ない公園でも自然への新しい発見や感触を得られたことで、身近なところから五感を磨いていけるということが分かりました。

私たちは日常生活を何気なく送っていますが、その中に存在する自然を感じ取れる感受性を子どもも大人も育てていけるような活動を今後も行っていきます。

奥貫薫さん、取材プログラムに参加した小学生といっしょに



んね。そういう、センスオブアースも今年の春、中央イベント・会場代々木公園・明治神宮、に初参加しました。何をしたかって？ それは……明治神宮の深い森の傍らで、「木の鼓動を聞くこと」そして「カモフラージュ」の生きものの生存力を感じる NEW ネイチャーゲームをやったのです。

4月18日土曜日、アースデイのちの森で『江戸の郷よよぎネイチャーゲームの会』の皆さんと一緒に普段は開放されていない明治神宮の森で子ども達と一緒にネイチャーゲームを楽しんできました。

広がる青い空と眩しい緑の芝生、そして雑木林。吹き抜ける涼しい風とやさしい音楽は、そこを訪れた人みんなを癒してくれました。

今回のネイチャーゲームは「カモフラージュ」と「木の鼓動」。

木の鼓動では、子どもたちは聴診器を木の幹に当てて、「聞こえたよ！ ザーッとかがゴウゴウって音がするよ」、「こっちの木の方がよく聞こえるよ」とか「木によって音が違うよ」など、木の間を駆け回っては、楽しそうに大人よりずっと上手に音を聞き当ててくれました。また、子どもたちの興味付けとして木の枝でクラフト作りもお手伝いさせて頂きました。最近、小刀を使って鉛筆を削る機会も減っているので子どもたちは夢中になって木の枝を削ってきれいな色を塗って想い想いのキーホルダーを作っては得意気に披露してくれました。



『江戸の郷よよぎネイチャーゲームの会』の皆さんと

カントウタンポポが所どころで元気に咲いている明治神宮の風景がこれからもずっと続きますように。

皆さんも来年はアースデイと一緒にタンポポに会いに行きましょう！

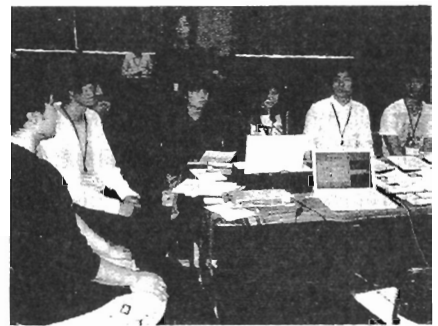
(記：SOE 杉山佑里子)

4.29 環境NGOエコリーグ主催エコ情報交流会に出展団体として参加しました。

新学年が始まり1か月が経ちゴールデンウィークの真ただ中の4月29日にNGO団体エコリーグ(注1)主催のエコ情報交流会(注2)のイベントにセンスオブアースも出展団体として参加しました。

このイベントでは主に大学に入って間もない1年生、2年生や社会人など総勢100人近く集まり、学校の部活にもあるよう新入生歓迎するための交流会です。環境系1,2年生のうちから環境問題に興味があって積極的に活動している学生が増えているなあと感じました。また、出展している参加団体も山手線沿いの大学を中心に山手線沿いの大学生が一斉にごみの清掃活動を行う山手アクション実行委員会の学生団体から環境・CSRのビジネス情報誌を出版しているオルタナという企業まで幅広い分野で活動している環境団体が集まりました。

SOEの説明を聞いている大学生、SOEも大学生スタッフが説明しています



当日はセンスオブアースの団体についてまとめたVTRを流し、ブースに来てくれた学生と交流を図るワークショップを行い、質疑応答という流れで説明を行いました。

参加してくれた学生の意見として、「学校とうまく連携が取れていてすごい」「子供が好きなので、ぜひ参加したい」「出張授業に出てみたい」といった意見をもらいました。また今環境の事で興味ある

こととして質問をしたところ、「里山での活動とコミュニティー作り、子育て支援」「環境教育」「地域の活性化」「農村と都市の交流」など 様々な回答があり、センスオブアースのブースにも多くの学生が集まり、環境教育に興味のある学生が多くいるなあと実感しました。

今回、大学の新生向けにセンスオブアースの活動を紹介する機会をもったのは初めてのことで、新生に向けた広報活動をもっと展開していければ環境教育を志す担い手がどんどん増えてくれるなど手ごたえを感じた1日でした。(記：SOE 高橋雅俊)

注1)エコリーグ…エコ・リーグ(全国青年環境連盟)は1994年に発足し、2009年で15周年を迎える環境NGOです。エコ・リーグは、様々な環境問題を考え、行動する全国の青年環境活動家や団体をネットワークし、青年の環境活動全体を盛り上げることを目的としています。

注2)エコ情報交流会とは…「地球温暖化」「自然エネルギー」「リサイクル」など環境各分野ごとの厳選【約15団体】が一堂に会す『環境に興味がある』『環境活動を始めたい』『さらに活動の幅を広げたい』そんな人のための、環境情報発信・交流会です。

● S.O.E. 活動報告 (2009年4月)

日	曜	内容
2	木	NPO法人すぎなみ環境ネットワーク 浅岡八枝子さん・境原達也さん・秦範子さんと話し合い—すぎなみの消費者運動、リサイクル活動、そして環境活動へ発展、初期のころからの、自治体との協働、現在の委託制度の課題など
3	金	NPO法人川口市民環境会議理事長 浅羽理恵さんにNPO活動について取材—エコライフデイ、環境フォーラム、環境教育出前授業、環境教育出前授業講師養成講習会など。見沼田んぼ周辺の環境、通船堀見学
6	月	SOEニュース4月号原稿準備・09年度分ニュースコピー紙・封筒受取
7	火	4月アースデイ、エコリーグ、セイブザフューチャーなどの連絡・準備
9	木	アースデイ (明治神宮の会場参加団体) 実行委員会出席
11	土	沖縄エコツアー スタッフ打ち合わせ—於 日本女子大学西生田校舎 昼
12	日	午前 SOEワークショップ 午後 SOEニュース発行作業予定
16	木	NHK主催「セイブザフューチャー」出展者説明会出席 その後、SOEアースデイ出展規格打ち合わせ
18	土	エコリーグ環境情報交換会 (オリンピックセンター301,302) 出店 新人学生歓迎相談会・説明会に参加
26	日	エコポリスセンター職員 神山健次さん講演会・SOEワークショップ エコリーグ学生情報交換会参加 (29日) と、NHK「セイブザフューチャー」参加 (6月20~21日) の準備
30	木	日本女子大学人間社会学部サークル自然探偵団 西生田山自然観察会参加

● S.O.E. 活動予定 (2009年4月)

2	土	沖縄エコツアー、ニュース原稿打ち合わせ—於 日本女子大学西生田 雑誌「ソトコト」5月号に掲載された“SOEネイチャーゲームプログラム実施活動”の紹介
3	日	セイブザフューチャーの準備—企画提出作業、SOEニュース原稿執筆：～6日(水)まで
9	土	セイブザフューチャーの道具用意
10	日	午前～セイブザフューチャー出店準備 午後SOEニュース発行作業日 荒川クリーンエイド ゴミ拾い活動 (板橋野鳥クラブ等)
16	土	板橋区ヤゴ救出作戦 ボランティア研修会参加 (pm 2～4) 第6回沖縄エコツアー企画決定 説明会準備 (pm 4～)
17	日	山手線沿線ゴミ拾い活動 (明治大学サークル呼びかけ)
21	木	板橋区内 小学校 ヤゴ救出作戦にSOE学生3人参加
24	日	SOEワークショップ—セイブザフューチャーの出店準備
28	木	板橋区内 小学校 ヤゴ救出作戦にSOE学生2人参加予定

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp